

新機能 Y軸側データ分割機能 機能説明

1. Y軸側データ分割機能設定

Y軸側データ分割機能の設定は、

「設定」メニュー内の「Y軸側データ分割設定1」「Y軸側データ分割設定2」で行います。



2. データ分割機能を有効にする

ホーム画面の左側に配置してあります【データ分割 OFF】ボタンを押下し、

表示を【データ分割 ON】にして頂くと、Y軸側に設定した範囲でデータを分割出力できます。

または「Y軸側データ分割設定1」内の【データ分割設定を有効にする】のチェックボックスにチェックを入れる事でデータ分割機能を有効にできます。



◆ホーム画面の【データ分割】ボタンと、「Y軸側データ分割設定1」内の【データ分割設定を有効にする】チェックボックスは連動しています。

3. 分割範囲設定

分割したい範囲を「Y軸側データ分割設定1」内の「分割範囲設定」で設定します。

分割したデータを並べる間隔は、「データ設定」内の「データ間隔」の設定値になります。

TRC02 ver.8.4.0.5

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

設定 Y軸側データ分割設定1

データ分割設定を有効にする ☒

分割範囲設定

分割範囲指定 700 mm ※Max[900.2]

重ね代設定: 0 mm ※Max[350]

合わせ基準線設定

合わせ基準線を描画する ☐ P1

合わせ基準線位置: ☒ 内側 ☐ 外側

合わせ基準線間隔: 500 mm ※[20~]

カッティング線設定

カッティング線を追加する ☒ C1

カッティング線オフセット: 10 mm

合わせ中心線設定

データ中央に破線を描画する ☐ LT5

LT5: 20 mm

LT5: 20 mm

LT5: 20 mm

LT5: 20 mm

Default値 書き込み 読み込み

◆[分割範囲設定]は
設定可能最大値を
「Max[...]」として表示しています。

TRC02 ver.8.3.9.9

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

設定 データ設定

データ間隔 200 mm ②

887

HPGL ペン設定

PEN1: P1

PEN2: C1

PEN3: P1

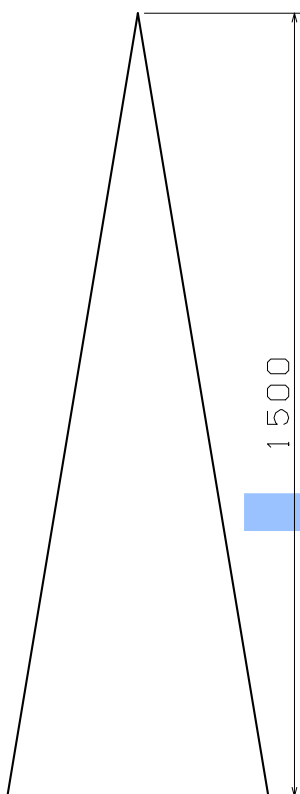
カッティングパターン

パターン: [パターン#1] [パターン#2]

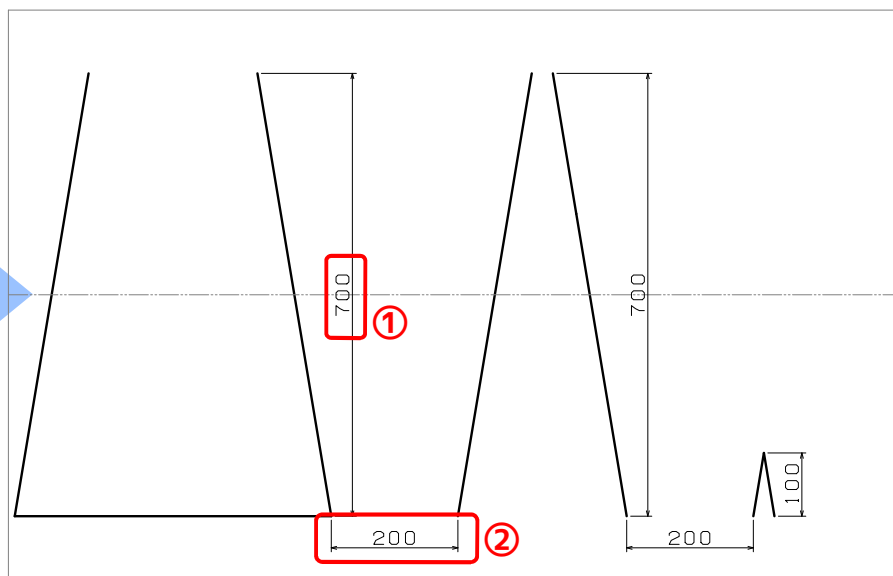
切り取り部: 7 mm

残存部: 0.3 mm

Ex)高さ1500mmのデータを分割範囲設定700mmで出力する場合



- ◆[分割範囲設定①] で設定した数値で、データを分割します。
- ◆分割したデータは、フィルムの中央に配置されます。
- ◆分割したデータの間隔は、「データ設定」内の[データ間隔②]の数値になります。



4. データ重ね代を設定する

「Y軸側データ分割設定1」内の「データ重ね代設定」にて設定します。

TRC02 ver.8.4.0.5

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

設定 Y軸側データ分割設定1

データ分割設定を有効にする ☒ カッティング線を追加する ☒ C1

分割範囲設定 カッティング線オフセット: 10 mm

分割範囲指定: 700 mm ※Max[900.2]

データ重ね代設定 重ね代設定: 20 mm ※Max[350]

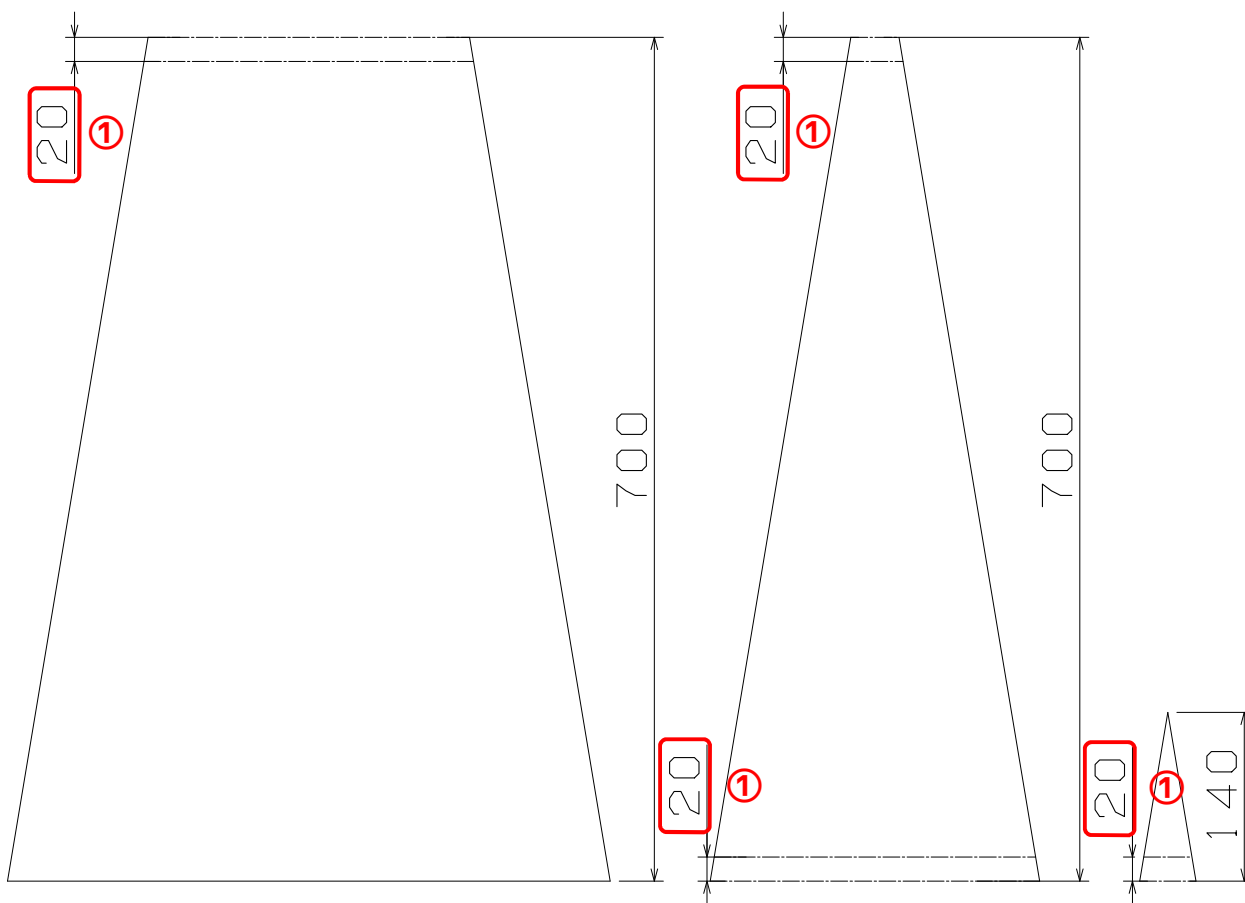
データ中央に破線を描画する ☐ LT5

合わせ基準線を描画する ☐ P1

LT2 20 mm LT3 20 mm

◆「データ重ね代設定」は
設定可能最大値を
「Max[...]」として表示しています。

Ex) 高さ1500mmのデータを分割範囲設定700mm、
データ重ね代設定20mmで出力する場合



※データ分割部に分割線(「8. データ分割線を描画する」参照)を描画しています。

5. 合わせ基準線を描画する

「Y軸側データ分割設定1」内の「合わせ基準線設定」にて「合わせ基準線を描画する」のチェックボックスにチェックを入れると、分割データの上下に、合わせ基準線を描画します。

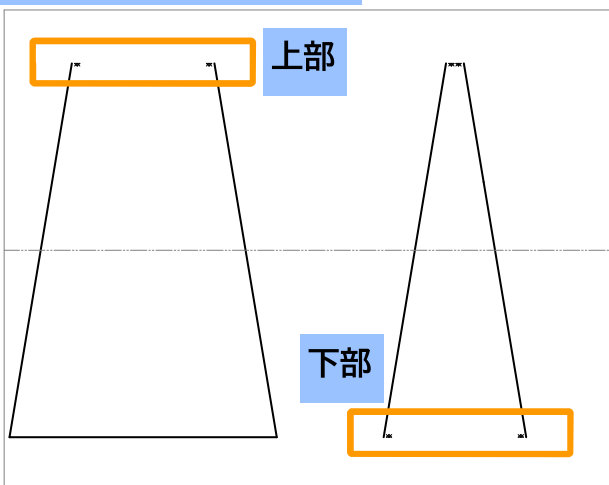
◆【合わせ基準線を描画する】設定には、描画するペン番号を【P1/P2/P3/P4】から選択します。

◆【合わせ基準線位置】設定で、合わせ基準線位置を【内側/外側】から選択します。

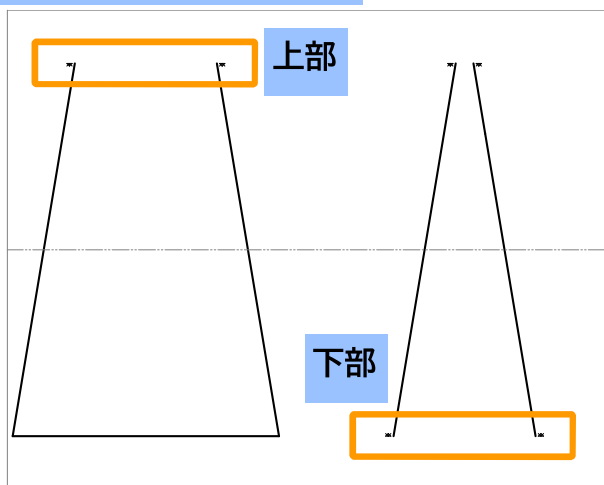
◆【合わせ基準線間隔】設定で、合わせ基準線の配置間隔を20mm以上で設定します。

Ex) 合わせ基準線位置

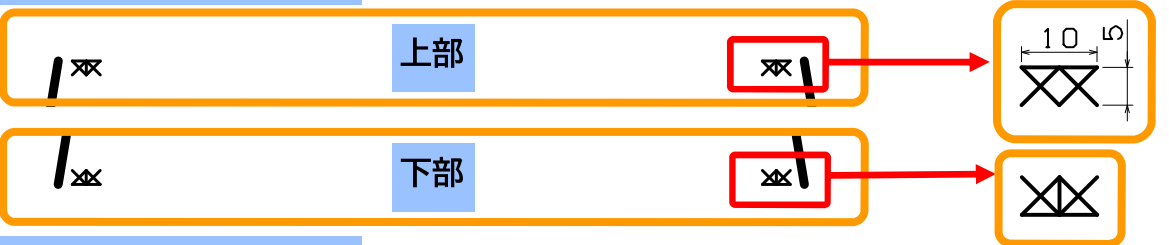
合わせ基準線位置：内側



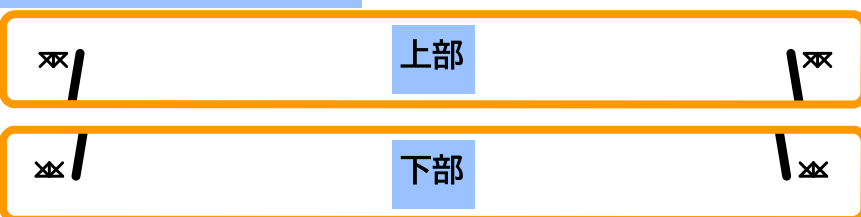
合わせ基準線位置：外側



合わせ基準線位置：内側



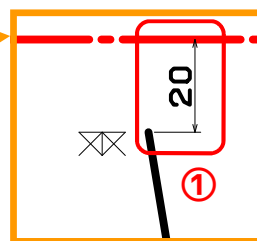
合わせ基準線位置：外側



※合わせ基準線位置が内側で、分割データの上下分割部の幅が狭い場合は、合わせ基準線が1個になります。さらに狭い場合は、合わせ基準線を描画しなくなります。

「Y軸側データ分割設定1」内の「カッティング線設定」にて【カッティング線を追加する】のチェックボックスにチェックを入れると、下図の様に分割データにカッティング線を追加します。

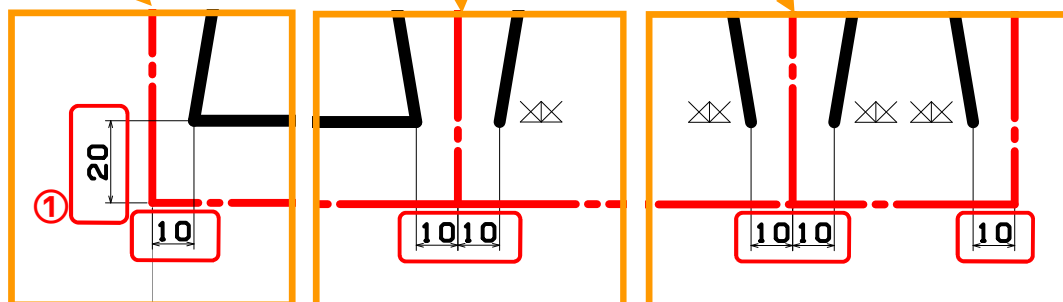
- ◆【**カッティング線を追加する**】
設定には、カッティングする線の
カットパターンを【C1/C2】から
選択します。
- ◆【**カッティング線オフセット**】
設定で分割データから、Y軸側の
上下のカッティング線までの
オフセット値を設定します。
- ※**分割範囲とオフセット値を**
合計した値が描画範囲を超える
場合は、オフセット値が自動で
調整されます。



◆【**カッティング線オフセット①**】に
設定した値は、Y軸側上下位置の
オフセットに適用されます。

※設定値が“0”の場合は、
オフセット分が無くなり、
分割線位置でカッティングします。

◆カッティング線を追加した時、
X軸方向に10mm離れた位置に、
カッティング線がひかれます。



7. 合わせ中心線を描画する

「Y軸側データ分割設定1」内の「合わせ中心線設定」にて「データ中央に破線を描画する」のチェックボックスにチェックを入れると、下図の様に分割データの中心に破線を描画します。

TRC02 ver.8.4.0.4

ホーム フィルム残量 48.000 m フィルム送り フィルム戻し

Y軸側データ分割設定1

設定

データ分割設定を有効にする ☒

分割範囲設定

分割範囲指定: 900 mm ※Max[900]

データ重ね代設定

重ね代設定: 0 mm ※Max[450]

合わせ基準線設定

合わせ基準線を描画する ☒ P1

合わせ基準線位置: ☒ 内側 ☐ 外側

合わせ基準線間隔: 500 mm ※[20~]

カッティング線設定

カッティング線を追加する C1

カッティング線オフセット: 10 mm

合わせ中心線設定

データ中央に破線を描画する ☒ LT5

LT2 20 mm

LT3 20 mm

LT5 20 mm

LT6 20 mm

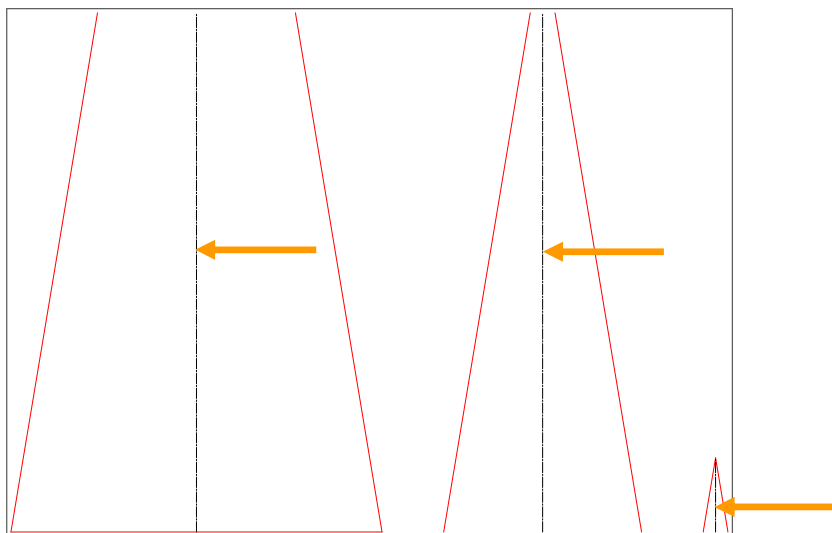
◆[データ中央に破線を描画する]

設定には、破線の種類を
[LT2/LT3/LT5/LT6] から
選択します。

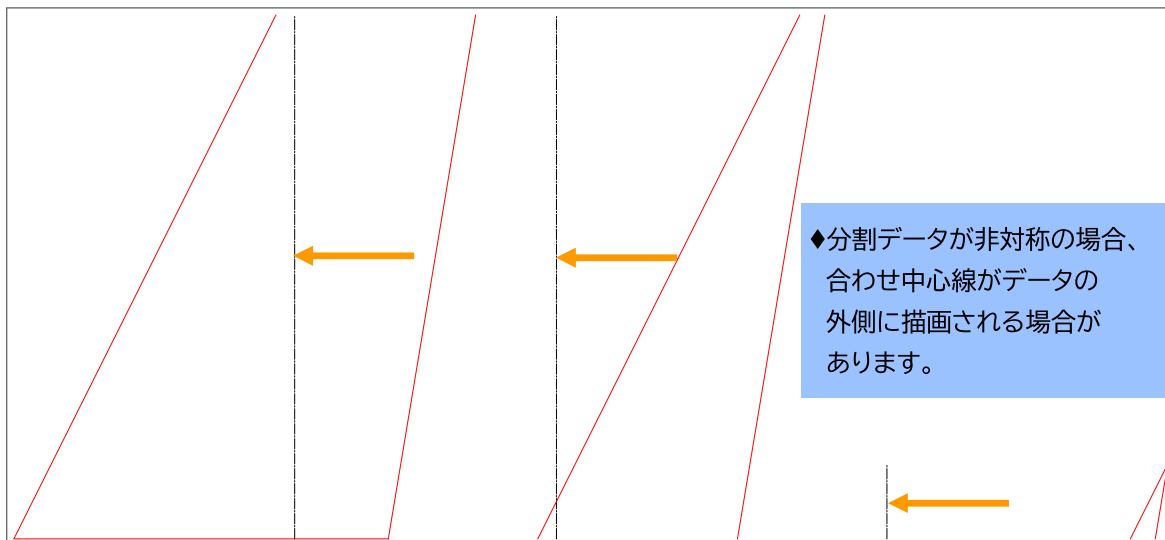
破線のラインピッチを
mm単位で 設定します。

※描画するペン番号は
[合わせ基準線設定] で選択した
ペン番号になります。

Ex) 分割データが左右対称時の合わせ中央線



Ex) 分割データが左右非対称時の合わせ中央線



8. データ分割線を描画する

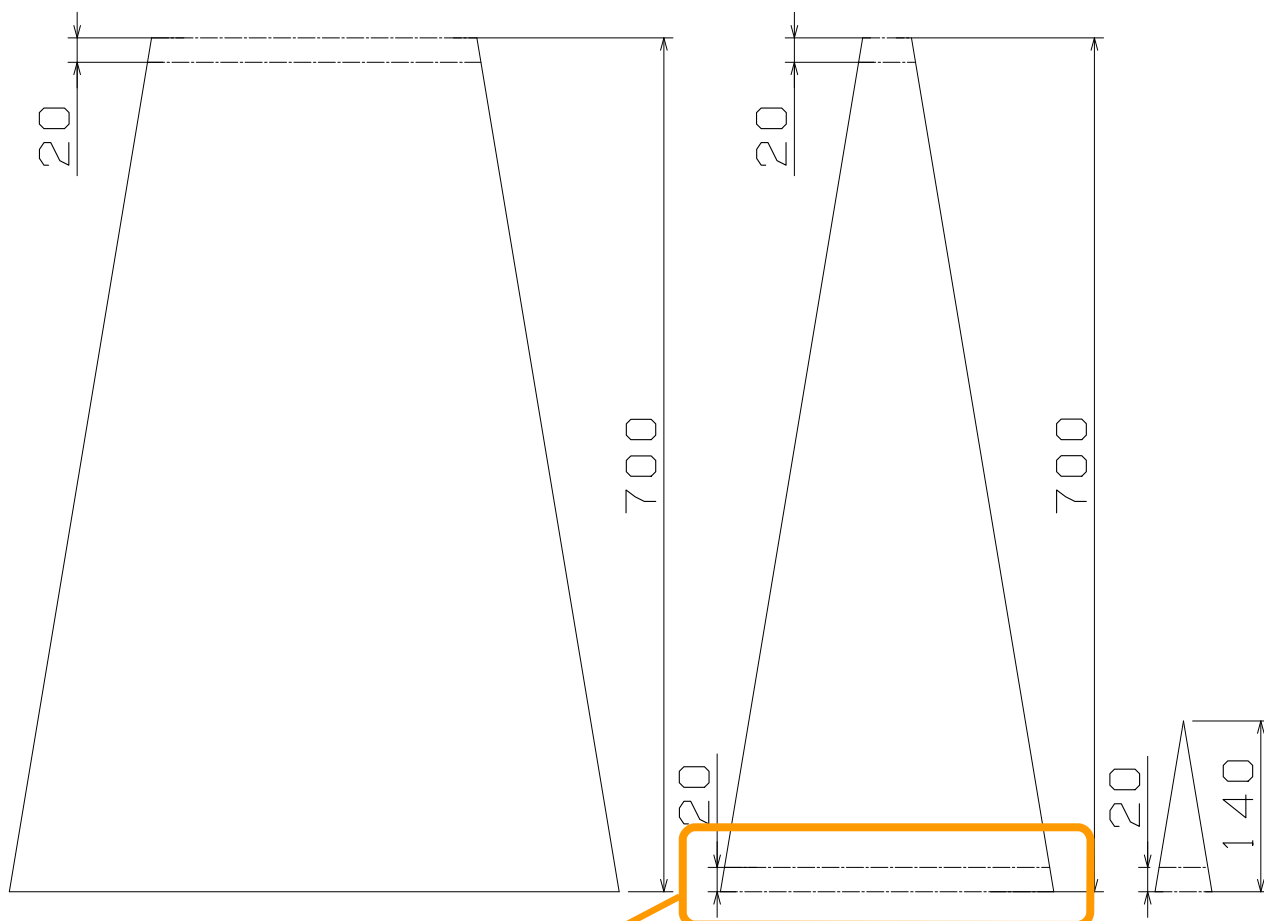
「Y軸側データ分割設定2」内の「データ分割線設定」にて「データ分割線を描画する」のチェックボックスにチェックを入れると、分割部に実線または破線を描画できます。

※重ね代設定が“0”で無いしている場合は、分割線が2本描画されます。



◆[データ分割線を描画する]
設定には、実線または破線の種類を [LT/LT2/LT3/LT5/LT6] から選択します。
破線のラインピッチを mm単位で設定します。
※描画するペン番号は [Y軸側データ分割設定1] 内の [合わせ基準線設定] で選択したペン番号になります。

Ex) 高さ1500mmのデータを分割範囲設定700mm、
データ重ね代設定20mmで出力する場合



分割線
重ね代分オフセットした位置の分割線

※重ね代設定が“0”で無い場合は、
その分がオフセットされた位置に分割線が
描画されますので、分割線が2本となります。